

ネイティブ・ククルビタ・スプ. アスコルビン酸オキシダーゼ

Cat. No. NATE-0012

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、L-アスコルビン酸オキシダーゼ（EC 1.10.3.3）は、次の化学反応を触媒する酵素です： $2 \text{ L-アスコルビン酸} + \text{O}_2 \leftrightarrow 2 \text{ デヒドロアスコルビン酸} + 2 \text{ H}_2\text{O}$ 。したがって、この酵素の二つの基質はL-アスコルビン酸とO₂であり、二つの生成物はデヒドロアスコルビン酸とH₂Oです。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特に酸素を受容体とし、ドナーとしてジフェノールおよび関連物質に作用するものです。この酵素はアスコルビン酸の代謝に関与しています。1つの補因子、銅を使用します。

用途 キュウリ科植物（Cucurbita sp.）由来のアスコルビン酸オキシダーゼは、酸化ストレスおよび熱ストレスに対する耐性を研究するために使用される可能性があります。クリエイティブエンザイムズ（Creative Enzymes）由来のアスコルビン酸オキシダーゼは、アラビドプシスの熱ストレスに対する耐性を研究するためのアスコルビン酸アッセイに使用されてきました。

別名 アスコルペース; アスコルビン酸オキシダーゼ; アスコルペートオキシダーゼ; アスコルビンオキシダーゼ; アスコルペート脱水素酵素; L-アスコルビン酸オキシダーゼ; AAO; L-アスコルペート:O₂ オキシリダクターゼ; AAオキシダーゼ; EC 1.10.3.3; 9029-44-1; L-アスコルペートオキシダーゼ

製品情報

由来 ウリ科の植物 (Cucurbita sp.)

形態 バッファーと安定剤としてのスクロースを含む凍結乾燥粉末。

EC番号 EC 1.10.3.3

CAS登録番号 9029-44-1

活性 1,000-3,000 ユニット/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 5.6の条件下で1.0 μmoleのL-アスコルビン酸をデヒドロアスコルビン酸に酸化します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C